

## 自閉症・情緒障害特別支援学級 自立活動学習指導案

1 単元名 みんな なかよし「笑顔いっぱい いちごかくし」

2 単元について

- ・本学級には、年齢も障害の特性も異なる5名の子供が在籍している。1学期当初は、1年生が一人、学級のメンバーに加わり、環境の変化に戸惑いうまく関わることができなかつた子供たちだったが、様々な活動を通して少しずつ関わることができるようになった。しかし、どの子供も人とうまく関わりたいと思いながらも、相手の気持ちを考えず自分の思いを押し通そうとしたり、相手が自分のためにしてくれたことを素直に受け入れず自分本位な言動をしたりすることで、トラブルになることが度々あった。今学期の一人一人の個別指導計画の作成を通して、2 心理的な安定（3）、3 人間関係の形成（2）（3）が、どの子供にとっても中心的な課題の一つであることが明らかになった。中心課題である「相手の気持ちを考えて、自分の行動を調整すること」は、今後の人間関係を円滑にし、集団参加の基盤を培うために必要なスキルであると考える。
- ・本単元で取り扱う「いちごかくし」は、隠したいちごの模型を探し出す宝探しゲームである。昨年度も行ったため、本学級の子供たちにとって馴染み深く、大好きなゲームの一つである。昨年度は「友達のことを考えてかくそう」を合言葉にチームに分かれて取り組んだことで、相手チームの友達のことを考えて見付けやすい位置にいちごを隠すこともできるようになってきた。そこで、今年度はレベルアップとして、「アドバイスし合ってもっと仲良くなろう」を合言葉に、隠したチームからアドバイスがもらえる活動を仕組む。適切なアドバイスをするためには、友達の立場になって分かりやすく伝えることが大切になる。相手が必要だと思う情報は何か、どのように言うと相手は分かりやすいのか、様々なスキルが必要になる。また、アドバイスを受ける側もアドバイスを素直に聞こうとする態度、最後まで聞きその内容を短期記憶として留めておくなど、様々なスキルが必要になる。本単元を通して、友達のことを考えたアドバイスが受け入れられる嬉しさと共に、アドバイスは自分のことを応援してくれる大切な言葉であると実感してほしい。安心できる仲間と関わり合う楽しさを味わいながら、アドバイスすることを通して相手を思いやることの大切さを十分に感じてほしい。さらに、一人一人にあった活動を仕組み、一人一人の課題の改善・克服を目指していきたい。

3 単元の目標

A児（1年）

- ・E児が嫌がるようなことをせず、一緒に活動することができる。  
心理的な安定（3）人間関係の形成（1）
- ・答えが分かっていても、答えを言うことを我慢することができる。  
人間関係の形成（3）（4）

B児（4年）

- ・友達のアドバイスを素直に聞き、行動することができる。  
心理的な安定（3）環境の把握（2）
- ・友達の立場にたって簡単なアドバイスを言うことができる。  
心理的な安定（3）人間関係の形成（1）

C児（5年）

- ・友達のよいところを素直に伝えることができる。  
心理的な安定（3）人間関係の形成（2）
- ・自分の意見を押し通さず、友達の意見を取り入れることができます。  
人間関係の形成（2）（3）

D児（5年）

- ・気持ちが不安定になっても教師の励ましを受け、最後まで活動に参加することができる。  
人間関係の形成（1）（3）
- ・自分の意見が受け入れられないときも、切り替えることができる。  
心理的な安定（3）人間関係の形成（1）

E児（5年）

- ・自分の意に反する言動をした友達に対して、厳しく注意しない。  
心理的な安定（3）人間関係の形成（3）
- ・友達のアドバイスを受け入れ、「ありがとう」と伝えることができる。  
人間関係の形成（1）（2）

## 4 本時の学習（4／6時）

### (1) 目標

A児	答えが分かっても、答えを言うことを我慢することができる。
B児	友達からのアドバイスを素直に聞き入れることができる。
C児	自分の意見を押し通さず、友達の意見を取り入れることができる。
D児	自分の意見が受け入れられないときも、切り替えることができる。
E児	自分の意に反する言動をした友達に対して、厳しく注意しない。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意点 ◆評価(方法)
<p>1 心のウォーミングアップ「教えてなぞなぞクイズ」を行う。(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの問題は～です。赤のアドバイス持っている人はいますか？</li> <li>・わたしが持っています。アドバイスを読みます。</li> <li>・分かった〇〇だ。アドバイスしてくれて、ありがとうございます。</li> </ul> <p>2 学習課題と学習の流れを確認する。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色分けした問題とアドバイスカードを人数分用意し、どの子供も答える側、アドバイスをする側の両者を体験できるようにする。</li> <li>・アドバイスカードは、三択の答えを用意しておくことで、どの子供も安心して答えられるようにする。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを使い、視覚的に活動のポイントを提示したり、テンポよく進めたりする。</li> </ul>
えがお いっぱい	いちごかくし
<p>3 今日の目当てを確認する。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの目当て「アドバイスをし合ってもっと仲良くなろう」を達成するために、ぼくのがんばることは、何にしようかな？</li> <li>・(掲示物を指さし)「答えを言わない」</li> <li>・ぼくは、「友達のアドバイスを最後まで聞く」を目当てにします。</li> <li>・目当ての達成基準は「アドバイスを聞いて、いちごを見付けることができたら」にしよう。</li> </ul> <p>4 いちごかくしをする。(20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここにいちごを隠すのは、どうかな？</li> <li>・いいね。ここなら、Bさんも見付けられるね。</li> <li>・どこにあるかな？</li> <li>・Bさんの近くにあるよ。もっと下を探して。</li> <li>・いちごあったよ。嬉しいな。</li> <li>・よく、見付けられたね。</li> <li>・Eさんのアドバイスは、分かりやすかったよ。</li> <li>・Bさんもアドバイスを聞いていたね。</li> </ul> <p>5 振り返りをする。(10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bさんは、目当てが「友達のアドバイスを最後まで聞く」だったけど、ぼくのアドバイスで、いちごを見付けられたから達成できたよ。</li> <li>・わたしは、答えを言うのを我慢できたことを先生に褒められて嬉しいな。</li> <li>・アドバイスし合って、仲良くなれたよ。</li> <li>・次のいちごかくし大会も楽しみだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの目当てを達成するために、一人一人何をがんばればよいか考えるように促す。</li> <li>・いちごを見付ける競争ではないことを伝える。</li> <li>・アドバイスを言う・聞く両方のコツが具体的に書かれた表を掲示することで、目当てを決めることができない子供の考えるきっかけになるようにする。</li> <li>・目当ての達成基準を具体的にした姿で言えるように促す。</li> <li>・隠すことに重きを置くのではなく、いちごを見付けてもらえるようにチームで協力して隠すように声をかける。</li> <li>・一人で複数のいちごを見付けないように「一人一個のいちご」をルールにする。</li> <li>・いちごを全部見付けた際は、達成感を感じるようになんか拍手をして称賛する。</li> <li>・活動の後すぐに「ミニふりかえり」を行うことで、いちごを見付けた友達の姿を忘れないように伝え合えるようにする。</li> <li>・3で立てた達成基準に近付いたか、確認する。</li> </ul> <p>◆本時の目標が達成できたか。(態度・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師から一人一人のがんばった姿を具体的に伝え、どの子供も達成感を味わえるようにする。</li> <li>・目当てを達成できたことを大いに褒め、次への意欲を高める。</li> </ul>